なってまいりました。

には仕事に田植え準備に勤

は

例祭にむけ準備が慌ただしく

た田に映える季節となり

当社で

61

桜が田植えに向け水を湛え

# 

第25号

え本年も仰木泥田祭を斎行 りとなりますよう皆様のご協力お とを総代会及び関係団体代表者に て決議しました。 去る四月八日に鉾迎えの儀を終 本年もよいお祭 するこ

昔の仰木祭の写真での比較などな

古式祭の内容や歴史、

また今と

20ページに纏められています。 果が写真を交えた記事として約 仰木祭の取材を続けて来られた成 小椋神社社務所発行 平成24年5月1日 皇紀 2672 年



| 木祭《今昔》写真帖

上げます。 は益々ご清祥のこととお慶び申 新緑の候、

となりました。 氏子総代四組年番取締を預かる事 この度平成二十四年度小椋神社

ご指導ご鞭撻のほど、 増え、益々発展します様、 御座います。 皆様のご協力を戴き、微力ながら 年間勤めさせていただく所存で 小椋神社への参拝者・崇敬者が 宜しくお願 皆様 0

い申し上げます。

## 仰木祭パンフレット

当日会場にて販売されますのでぜ 公認の仰木祭パンフレットとして ど大変興味深い内容で、

ひお求め下さい。

一部五百円予定

が発行される事となりました。 」による季刊誌『じぞうのめ』 成安造形大学 「地蔵プロジェ

の第一

号として仰木祭についての

そ

特集号を組んで戴きました。

長年

皆様に於かれまして

- 1 -

何分にも浅学非才な身ですが

小椋神社 大津市仰木 4-38-55

ホームページ http://ogurajinja.org/

稚児衿掛け

灯

参道車-

止

させて戴きます。 いました品々を御礼方々ご報告 年末より多くの方々が御奉納下

ポンプ 鳥居前幟ポー 金 伍萬圓 ル 飯 上坂設備様 北村了美様 田板金様

大傘立て台

佐々木伸幸様

小 林庄二様 藤士良様ご夫妻 三上雅美様

無事終了致しました。 の伐採からコンクリート舗装まで 親村の有志の方々にご奉仕戴き竹 場として使用させて戴く ました皆様方に心より御礼申し上 ました。 の伊平様にご了解を戴き当社駐車 ゙゚ます。 当社境内横の竹やぶを地主の上 なお、今後境内への 工事に際しては総代会、 ご奉仕戴き 事になり 車の

> 申 物の搬出入の際、 な方はお申し出 また足 下さ の

> > 五

日

五

日

m

五

月

日

服

者

清

顽

曝され大きな段差が出来ておりま 心より御礼申し上げます。 下造園様が御奉納下さいました。 したが今回石畳を少し延 した石は工事を請負って戴いた川 になりました。新たな石畳に使用 改修を行いました。 また、 御車がスムーズに通れるよう 境内拝殿前大杉横 永年風 長し神 0) 雨に 石畳

す。 に祭典出仕者の清祓を執り行 た方はご参列下さ 五月一日 親族、 「の午前・ 知 人等にご 九時 一不幸があっ と午 後 17 ま 時

於

祭を行い、 後 一時より小椋神社にて湯立 三時頃より若宮神社

午後三時より各社参社し、

Ŧī. 社

乗り入れはご遠慮戴きますが

詞を奏上いたします。 鏑馬の足慣らしが行われます。 言祝ぎ、 祭の成功をお祈りし、 で子供神輿の 渡御先の若宮神社で例祭、 明日の安全を祈願する 地鎮神社とまわり、 渡御が行わ 馬場では その後中 れます。 祭を 古式 祝

とって一 お願い申し上げます。 様方も是非ご参列下さいますよう を執り行います。 午前 九時より本殿にて当 年で一 番重要な 氏子崇敬者の皆 「例祭」 社

皐 の ま 9

忌 宵

1 -椋 神 社

1到

古 式 祭 典

ります。 の神輿の

渡御等の古式祭典が

小椋神社は仰木・仰木の里一萬の 鎮守の神様です

人生儀礼は氏神様へ

物宮詣・七五三詣・厄除・奥産・交通奥全・ 合格祈願等る種御祈祷謹んでご奉仕致します

> ご予約・お問い合せ TEL: 077-572-1482

Mail: ogurajinja@mac.com